

中国新聞に掲載されました

(第三種郵便物認可)

採集した水生生物を集めた海田小の「瀬野川水族館」



おいでよ 校内水族館

海田小児童 瀬野川の30種 希少種も

海田町の海田小4年生68人が、校区内を流れる瀬野川で水生生物を採集し、空き教室に展示している。絶滅の恐れのあるカジカなど珍しい魚もあり、児童は調査、学習した成果も解説パネルにした。教室を「瀬野川水族館」と名付け、11月初めに一般公開する。(田中伸武)

大小17個の水槽で飼育するのは、コイ、マハゼといった魚類を中心にテナガエビ、モクズガニなどを含む約30種、約100匹。県の絶滅危惧1類のカジカ(中卵型)など希少種も多い。毎夏、児童と観察活動する瀬野川を楽しむ会(中村幸春会長のメンバーの協力で9月15日に採集した。児童は図鑑やインターネットで生態を調べ、「ドンコは夜行性で水草に潜む」「ギンブナはエサを食べる時口をとがらせる」などの説明カードを制作。廿日市市の宮島水族館を見学し、水槽の後ろ

に説明文をつけるボックススクリーンや、クイズ形式の解説など展示の工夫も採り入れた。同20日から校内に開放し、児童や保護者が訪れている。

飼育係の織田心香君(9)は「カワムツは仲間できよく争い、チチブは餌をたくさん食べるのが分かった」と観察の成果を話す。

浜田一旨教諭(32)は「採集から展示までの活動は、課題発見と解決をめざす総合学習になる。身近な自然で郷土愛も育んでほしい」と見守る。

一般公開は、1日午前10時半～午後4時45分▽2日午前8時～正午▽4日午前8時～午後4時45分▽5日午後3時50分～4時45分。